

石川工業高等専門学校 創立 50 周年記念式典 校長式辞

野山が秋色に染まる今日の佳き日、多数のご来賓の皆様をお迎えして、石川工業高等専門学校創立 50 周年記念式典を挙行できますことは、本校にとりまして大きな慶びとするところであり、ご臨席の皆様にご心から御礼申し上げます。

高等専門学校は昭和 37(1962)年に我が国における急激な工業技術の発展に伴い、産業界の強い要請に応え、確かな学術的基盤の上に、実践的な技術を身に付けた第一線の技術者を養成することを目的として中学校卒業後の、5 年一貫教育を行う新たな学校制度として発足しました。本校はその第 4 期校として、昭和 40(1965)年 4 月に石川県の中心に位置する津幡町の東の高台の自然豊かな現在の地に設立され、第 1 回入学式はその年の 4 月 24 日に、機械工学科、電気工学科、土木工学科の 3 学科に 121 名の学生を迎えて行われました。その後、時代の変化と社会の要請により、昭和 45(1970)年に建築学科、昭和 62(1987)年に電子情報工学科がそれぞれ新設され、また、平成 6(1994)年に土木工学科が環境都市工学科に改組され、本科は 5 学科の構成となり、現在に至っております。さらに、技術革新の進展に対応し、平成 12(2000)年に本科卒業生が進学する 2 年間の課程の専攻科が設置され、修了生は学士(工学)の学位を取得できるようになりました。そして、本校におけるこれまでの本科卒業生は 7,587 名、さらにその上の専攻科修了生は 371 名に達しております。

平成 16(2004)年には全国の全ての国立高等専門学校が独立行政法人国立高等専門学校機構に移行し、学生数約 5 万名、教員数約 4 千名からなる、我が国最大規模の国立の高等教育機関として組織されました。現在、ほぼ各都道府県に設置されている 51 校の国立高等専門学校は、そのスケールメリットを生かしながら、それぞれの地域の特性に応じた発展を遂げております。

高等専門学校は、高等学校と大学工学系分野で学ぶ科目を体系的にバランスよく配置した 5 年間(あるいは専攻科までの 7 年間)の一貫の教育課程により、豊かな教養と高い専門性を身につけた実践的かつ総合的能力を備え、グローバルに活躍できる技術者を育成することを使命としております。特に本校には技術立国日本のものづくり産業を支える人材を育成するという使命感が創立以来今日に受け継がれております。この特色と伝統をもつ本校に学ぼうとする生徒たちが集い、恵まれた環境の下で学業と共に多彩な課外活動を通して人間的にも大きく成長して社会へ巣立っていった卒業生は、中堅技術者という当初の期待をはるかに超えて、地元の産業界のみならず国内外においても活躍する人材として高く評価され、今日の確固たる信頼を得るようになりました。これまでの卒業生の活躍は本校の誇りとするところです。

50 年にわたる本校の歴史において、そこには常に 15 歳から 20 歳までの若人と彼らを教え導く教職員の真摯な姿が見られます。学生は朝の始業時から午後の終業時まで、ぎっしりと組まれた時間割の下で学び、さらに授業が終わった後も、教員は卒業研究や課外活動の指導を行っております。創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者を育成し、社会へ輩出するためには単に技術や知識を教育するだけでなく、卒業研究等で学生が興味を持ち深く追究し、その成果をまとめて発表するという過程の経験が重要となります。その際、指導教員が有する課題設定

の立て方、問題解決の方法、計画通りに進まないときの対処法など、授業だけでは得られない貴重な経験を体得することができます。卒業研究以外にも、学生が主体になって企画から制作まで行うオンリーワン・プロジェクトや企業で就業体験して学ぶインターンシップへの支援を行っています。また、全国の高専生と競う各種コンテスト(高専ロボコン、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション、英語プレゼンテーションコンテストなど)や高専体育大会へも毎年参加し、活躍しております。このように、学生達は学業に加えて様々な活動を行うことにより、人間性豊かな技術者として成長してゆきます。私たちは、このような先輩諸氏や関係の方々の熱意と努力に支えられて、今日の本校が存在することを忘れてはなりません。そして、未来を担う人材を育成するという、高等専門学校使命と責任が50年にわたり継続されてきましたことに対し、先人に感謝と敬意を表するとともに私たちの誇りとするところであります。

本校は地域の産業界や行政機関の皆様から多大なご協力をいただき、また共同研究や技術相談、公開講座、小中学校の出前授業などにも積極的に取り組んでおります。これからも地域社会との連携を深めながら有為な人材を輩出することにより、地域に貢献するとともに世界に向けて更なる飛躍を目指す所存です。

石川工業高等専門学校創立50周年を迎えた今、先輩諸氏が築き上げてきた本校の歴史と良き伝統を受け継ぐとともに、高等専門学校の特徴ある技術者育成教育を時代の変化に対応してさらに進化させる機会にしなければなりません。私どもはここに次の50年に向けて新たな歴史を創り上げていくことを誓うものであります。

本校に学ぶ学生諸君は、高い理想と将来への夢を持ち続けることを期待します。そして、その夢の実現に向かって、学識のみならず知性や人間性も磨き、新しい技術を創り、人類の未来を切り拓いていくよう願っております。

最後に、本校創立50周年記念事業に対して多大なるご支援をいただきました方々に厚く御礼を申し上げます。また、日頃より本校の発展にご尽力をいただいている皆様方に改めて感謝申し上げますとともに、これまでに増してご協力とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます、式辞と致します。

学識と知性を磨き
新しい技術を創り
人類の未来を拓く

石川工業高等専門学校
校長 村本健一郎